



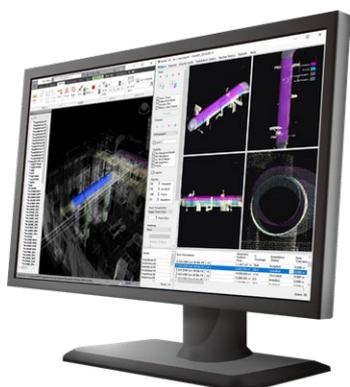
CLEAREDGE^{3D}



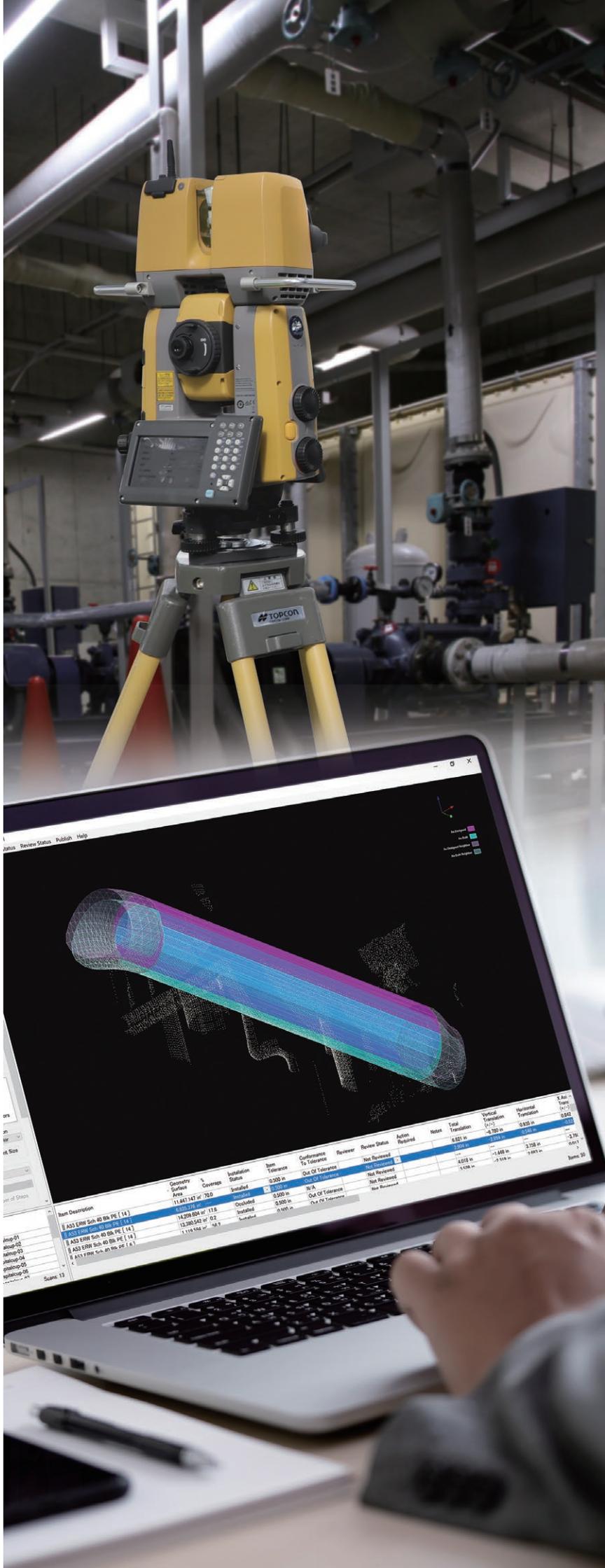
建築向け品質管理ソフトウェア

現況の 3D点群と BIMモデルを自動比較、 施工精度の可視化

- ・ 現場の施工精度を瞬時に把握
- ・ 躯体や配管の検査効率向上
- ・ 予算や工程変更のリスクを軽減
- ・ レーザースキャナーで非接触に取得した点群を活用
- ・ プロジェクト管理ツールに検査結果をエクスポート
- ・ 遠隔地から Web 上で品質確認
- ・ Autodesk® Navisworks® アドオンソフト



VERITY をご購入いただくと RITHM も併せてご利用いただけます。
RITHM: 平坦性解析ソフトウェア



設計時に作成した BIM モデルと実際に建設された建物の 3D 点群データを自動比較

点群取得

現況 3D 点群
データ



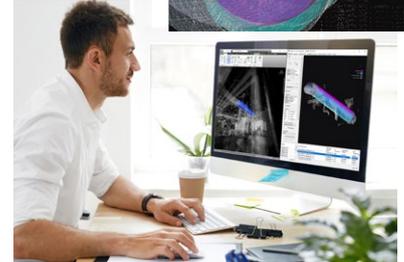
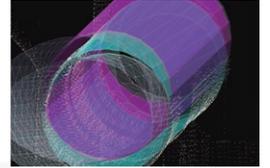
3Dレーザー scanner レーザースキャナートータルステーション
GLS-2200 **GTL-1000**
3D 計測製品で現況を点群計測

点群生成



3D 点群処理ソフトウェア
MAGNET Collage を使用して点群生成

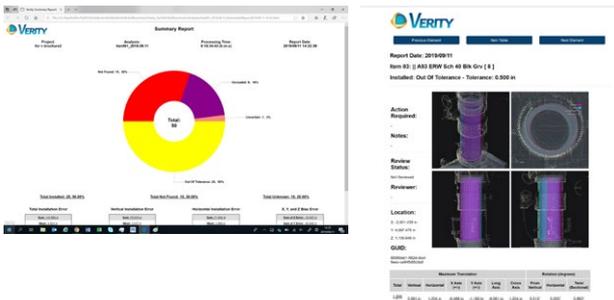
BIM モデル と比較



現況の 3D 点群と BIM モデルを自動比較

レポート共有で建設プロジェクト全体の効率化

Verity では、施工精度を効率的に評価するプロセスが確立されています。施工業者・設計者・施主など関係者間で共有できる、施工精度を評価した検査結果をレポートとして出力します。施工不良箇所を早期発見し、関係者間での合意形成、現場での対策が可能になります。これにより、スケジュール遅延を最小限に留め、通常は工事費の 10% 程度発生する手戻りコストを大幅に削減します。



効果的な自動比較と検査機能

Verity は躯体・配管などの現況 3D 点群と設計 BIM モデルを自動比較し、施工誤差の良否の判定、誤差量（シフト量、回転量、ねじれ量）を算出し、施工精度を評価します。従来の抜き取り検査ではなく施工箇所の全数検査が行え、漏れなく施工不具合箇所の発見ができるため、施工の信頼性が向上します。また、Autodesk® Navisworks® 上で、部材の有無や施工精度によって色分けが可能で、検査結果を視覚的に把握できます。



遠隔地から Web 上で品質確認

遠隔地（現場等）から Web 端末（スマートフォン、タブレット等）上で Verity の解析結果を 3D で閲覧できます。

PC 動作環境

OS	Microsoft® Windows® 10、8.1、8 (64bit) Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate (推奨)
CPU	Intel® Core i7 – 8700K または AMD Ryzen 7 1700x 3.8 GHz 以上 (SSE2 付き)
RAM	16 GB 以上
Graphics card	Nvidia GTX 1050 以上

Navisworks Simulate か Manage が必要です。※ Freedom には対応していません。



- Windows®は、米国Microsoft Corporationおよびその他の国における登録商標です。
- その他カタログ記載の製品名等は各社の商標または登録商標です。
- カタログ掲載商品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- カタログと実際の商品の色は、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。

【注意】 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

株式会社 **トプコン**

本社 スマートインフラ事業本部 スマートインフラ営業部
〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1
TEL (03)3558-2527 FAX(03)3558-2654

株式会社 **トプコンソキア ポジショニングジャパン**

本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

ご用命は